

給食だより



令和元年度 さいたま市立辻小学校

2019年も残りわずかとなりました。これから、冬至やクリスマス、大みそかなど、さまざま な行事があるので、行事食を食べて食文化を楽しむためにも、体調をととのえて元気に 。 過ごしましょう。

かぜをひいたら 保温

くしゃみ、鼻水、鼻づまり、のどの痛み、発 などのかぜの症状が出たら「栄養」、「保温」、 「安静」に努めることが大切です。 少量でも高 給も忘れずに行いましょう。また、部屋は、暖かくして湿度を保ち、十分な睡眠をとって安静 にすごすことで草めに治せます。



今年は12月22日





とうじ 冬至は、1年中で昼間がもっとも短くなり、夜が もっとも長い日です。この日を境に日が長くなり、 たいよう ちから ふっかつ 太陽の力が復活することから、「一陽来復」ともい われています。「一陽来復」には、悪いことばかりあ ったのが、ようやく回復してよい方に向いてくると いう意味もあります。 給食では、12月19日に冬至 ^{こんだて} が 登場 します。 しっかり食べて体を ^{あたた} 温めましょう。

冬至にまつわる食べ物



かぼちゃ

妥室にかぼちゃを食べる とかぜをひかないなどのい い伝えがあります。昔から ※を乗り切るために、かぼ ちゃを食べていました。



とう じ 冬至にゆず湯に入る風習 があります。ゆず湯に入る と、ひびやあかぎれが治り、 かぜをひかないともいわれ ています。

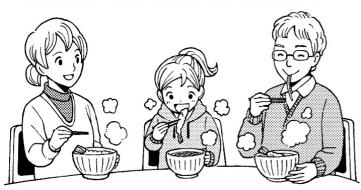


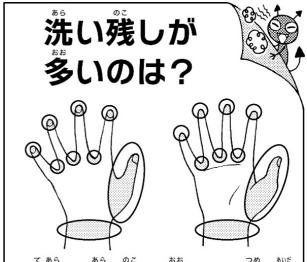
んがつく

冬至に「ん」がつく食べ物、 かぼちゃ(南瓜)、れんこん、 にんじん、きんかん、うど んなどを食べると違に驚ま れるといいます。

大みそかの 行事食 年越しそば

大みそかの夜にそばを食べる風習があります。 その由来は、寿命が細く長くありますようにとなりでした。 たまないるという説や、金細工師が散った金がかを集めるのにそば粉を使ったことから、新年の金運を願って食べるという説もあります。





手洗いで洗い残しが多いのは、爪の間や指の間、親指、手首です。洗い残しがないように右けんを泡立てて、手全体に右けんがいきわたるようにします。

くわい

12月10日(火)の給食には、くわいのから揚げが登場します。くわいは、さいたま市でよくとられる食材です。大きく長い芽をつけた姿から「めでたい」「芽が出る」などといわれ、おめでたい縁起物とされています。独特のほろ苦さとホクホクした食感が特徴の野菜です。3年生が薄皮むきのお手伝いをしてくれます。さいたま市でとれたくわいをおいしく食べましょう!

る年生が献立づくりに挑戦!



